2011/12 Weekly Bulletin

こころの中を見つめよう　博愛を広げるために

国際ロータリー 第2790地区 第３分区Ｂ

市原ロータリークラブ会報

Ending polio worldwide.
Rotary
Humanity in motion

第　2,300回　例 会　　2011年 00月　00 日（水）SAA/　00会員　会報担当：00会員

例会場：五井グランドホテル　　市原市五井　5584-1　　事務局　0438-38-3535

☆ 点　鐘　　市原RC会長　斉藤 榮志　☆ ソング　□ 第３週　手にてつないで

☆ お客様　　市原市経済部長　石井賢二 様

会長挨拶　市原RC会長　斉藤　榮志

会長任期満了まで例会あと９回

本日は齊藤パストガバナーにSAとして例会の進行役をお願いしていますが、本年度は三宅会員以下、齊藤パストガバナー、白鳥パストガバナー、山崎パストガバナー補佐をSAに配しまして、その威厳を持って厳粛な例会を行うという目論見でいましたが、蓋を開けて見ましたら各SAの皆様のお人柄か逆にアットホームで和やかな例会の雰囲気とりました。当初私の考えた目算とは違ってしまいましたが、結果的には「瓢箪からこま」的なグッドミステイクとなったような気がします。また、他クラブからメイキャップにいらっしゃったお客様が、齊藤パストガバナー、白鳥パストガバナー、山崎パストガバナー補佐が甲斐甲斐しくクラブ奉仕に努めていらっしゃるお姿を見て、恐縮するとともに我市原RCの雰囲気を好感を持って感じていただけたのではないのかと思っています。後2ヶ月半余りですが、三宅さん、齊藤先生、白鳥さん、山崎さん宜しくお願いいたします。

幹事報告　　幹事　山本　順也

ありません。

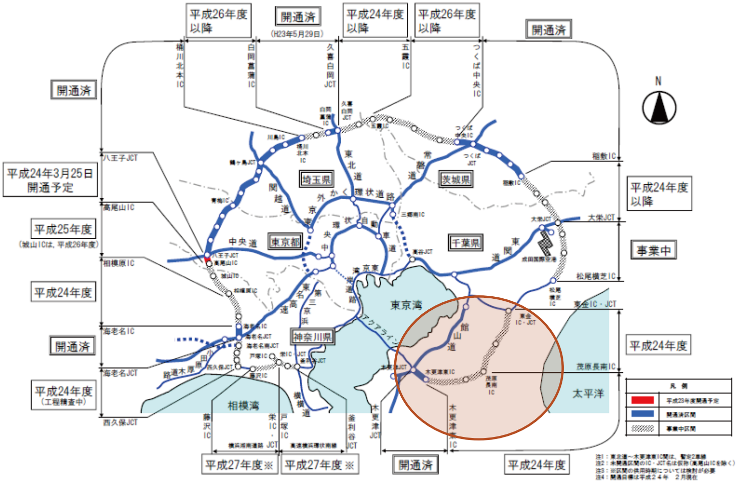
市原の観光振興について

1）首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の整備
2）中房総観光推進ネットワーク協議会の設立
3）サイクルツーリズムの推進
4）アートフェスティバルの開催

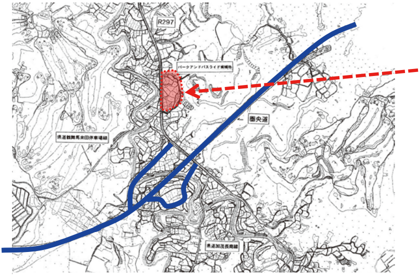
市原市　経済部
部長　石井　賢二　様

2012.4.18

1）首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の整備


平成26年度以降
開通済
（H23年5月29日）
平成24年度以降
平成26年度以降
開通済
桶川北本IC
白岡菖蒲IC
久喜白岡JCT
五霞IC
つくば中央IC
開通済
八王子JCT
平成24年3月25日開通予定
高尾山IC
平成25年度
（城山ICは，平成26年度）
相模原IC
平成24年度
海老名IC
開通済
海老名JCT
平成24年度
（工程精査中）
西久保JCT
稲敷IC
平成24年度以降
大栄JCT
事業中
松尾横芝IC
東金IC・JCT
平成24年度
茂原長南IC
N
川島IC
鶴ヶ島JCT
青梅IC
八王子JCT
高尾山IC
城山IC
相模原IC
海老名IC
海老名JCT
海老名南JCT
戸塚IC
栄IC・JCT
釜利谷JCT
西久保JCT
藤沢IC
五霞IC
つくば中央IC
つくばJCT
稲敷IC
三郷南IC
高谷JCT
大栄JCT
成田国際空港
松尾横芝IC
東金IC・JCT
木更津JCT
木更津東IC
茂原長南IC
埼玉県
東京都
茨城県
千葉県
神奈川県
東京湾
相模湾
太平洋
東北道
常磐道
関越道
中央道
東名高速
第三京浜
横横道
小田原厚木道路
東京外かく環状道路
首都高速中央環状線
京葉道路
東関道
京葉道路
湾岸道路
東京湾アクアライン
館山道
藤沢IC
栄IC・JCT
戸塚IC
釜利谷JCT
木更津JCT
木更津東IC
横浜湘南道路
高速横浜環状南線
平成27年度※
平成27年度※
開通済
平成24年度
凡例
平成23年度開通予定
開通済区間
事業中区間
注1：東北道～木更津東IC間は、暫定2車線
注2：未開通区間のIC・JCT名は仮称（高尾山ICを除く）
注3：※区間の供用時期については検討が必要
注4：開通目標は平成２４年　２月現在

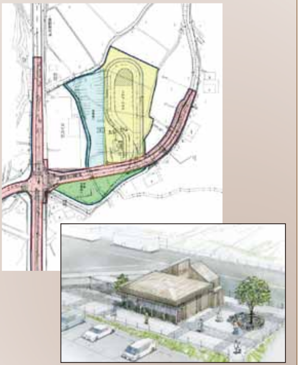
●圏央道 仮称）市原南インターチェンジ周辺整備


R297
パークアンドバスライド候補地
圏央道
県道鶴舞馬来田停車場線
県道加茂長南線

インターチェンジの供用開始に伴う効果

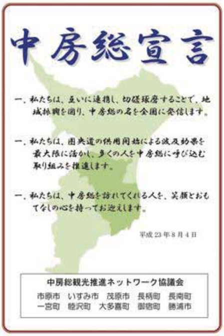
- ●川崎までの時間が10分短縮する。
- ●高速バスの利用で羽田空港まで約30分短縮する。
- ●市原市や外房地域のゴルフ場のアクセスが向上する。
- ●中房総・外房エリアへの観光客のアクセスが向上する。

バスターミナルの整備



待合所完成イメージ

2）中房総観光推進ネットワーク協議会の設立



中房総宣言

一、私たちは、互いに連携し、切磋琢磨することで、地域振興を図り、中房総の名を全国に発信します。

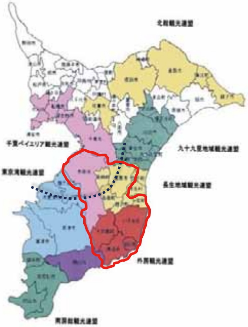
一、私たちは、圏央道の供用開始による波及効果を最大限に活かし、多くの人を中房総に呼び込む取り組みを推進します。

一、私たちは、中房総を訪れてくれる人を、笑顔とおもてなしの心を持ってお迎えします。

平成23年8月4日

中房総観光推進ネットワーク協議会

市原市 いすみ市 茂原市 長柄町 長南町
一宮町 睦沢町 大多喜町 御宿町 勝浦市

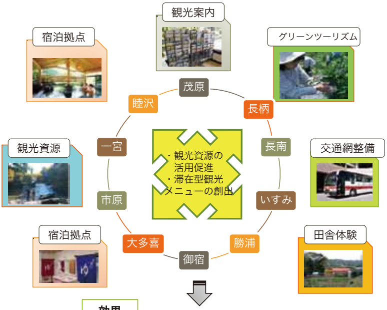

北総観光連盟
千葉ベイエリア観光連盟
九十九里地域観光連盟
東京湾観光連盟
長生地域観光連盟
外房観光連盟
南房総観光連盟

●中房総の意義

【設立目的】

圏央道の供用開始により、東京方面から中房総地域へのアクセスは飛躍的に向上します。

そこで、市域を越え、自治体が連携し広域的な取り組みを行うことで、効果的な観光振興、地域振興、交流人口の拡大を図るため、中房総観光推進ネットワーク協議会を設立しましたものです。


観光案内
宿泊拠点
グリーンツーリズム
茂原
睦沢
長柄
観光資源
一宮
長南
交通網整備
・観光資源の活用促進
・滞在型観光メニューの創出
市原
いすみ
宿泊拠点
大多喜
勝浦
田舎体験
御宿

【経緯】

1）設立年月日・・・平成20年2月13日
2）平成22年度をもって、鴨川市が退会し、4市4町となりました。
3）平成23年8月4日の首長会議において、一宮町及び睦沢町が新規加盟し、4市6町となりました。

【方向性】

点から面へ

それぞれの自治体が、それぞれの観光資源（施設やイベントなど）を一つの**点（観光スポット）**として活用することで、観光客数を増やし続けることや、地域振興を図ることには限界があると考えた。

そこで、各自治体だけでなく他地域と連携し、観光地を広域な**面（観光エリア）**として活用することで、多くの観光メニューが生まれ、観光客が季節を問わず楽しむことができる『周年型の観光地づくり』を実現することができると考えました。

効果

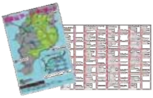
各自治体の持っている観光資源を**「地域のお宝」**として、他の地域ではないメニューと組み合わせ、新たな観光プランを創出することにより、年間を通して**『中房総の観光』**を楽しむことができます

広域での観光メニューが増えることで、日帰りでは出来ない宿泊滞在型プランを企画することができ、**中房総エリアへの滞在型観光客の増加**が期待できます。

●これまでの取り組み内容

平成20年度

エリア内の美術館やギャラリーを周遊しながら、デートをしてもらおうと「アートでデート」というリーフレットを作成。



平成21年度

日本・メキシコ交流400周年の年ということで、メキシコに由来のある地域にスポットをあてたリーフレットを作成。

平成22年度

・「波の伊八」の作品がエリア内で見学できることから、作品紹介と春のイベントを紹介するリーフレットを作成。
・イトーヨーカ堂船橋店で「中房総物産展」を開催。

平成２３年度

・中房総エリア内でのPR強化（茂原七夕まつり、上総いちはら国府祭りでの『中房総ブース』の設置。
・首長会議での観光庁長官による基調講演の開催
・中房総宣言の採択

●中房総の認知度を上げるためには

（1）組織の強化

本協議会の取り組みの活性化を図るため、会員を各自治体の首長とし、本協議会の設立目的を共通認識し、広域連携を図りながら観光振興を推進する。

●観光庁長官を招いて首長会議を実施しました●

平成23年8月4日（木）午後3時～
五井グランドホテル

【目的】本協議会が行っている広域的観光振興を観光庁に認知していただき、今後の取り組み、情報発信等に協力を願う。
また、観光庁長官より国の観光戦略についての話を伺い、首長は観光庁長官と意見交換をすることで、今後の観光振興策の参考とする。

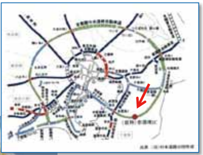
（2）エリア内外でのプロモーション

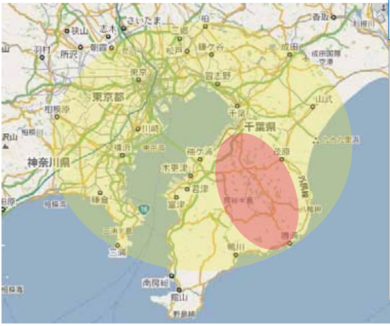
中房総の情報を積極的に発信するため、エリア内外のイベントやイベントスペースを有効活用し、中房総を売り込みます。

（3）観光協会や商工会議所、ＪＡ、漁業組合など関連団体の加盟推進（平成24年度以降）

今後、「中房総」をエリア内の人々に認知させるためにも、観光に関連する団体を本協議会の会員に加える取り組みを実施する。【例：勉強会など】

●今後の取り組み




さいたま
東京
東京都
千葉
千葉県
川崎
横浜
神奈川県
木更津
君津
富津
茂原
成田
鴨川
三浦
南房総
館山

①交通網の整備（圏央道ICの供用開始）による高速バスの有効活用
（横浜や羽田から１時間圏内になる）

②房総横断鉄道の活用
（小湊鉄道といすみ鉄道の連携）

③グリーンツーリズムなどの推進
（農業体験、田舎暮らし）

※サイクルツーリズムの推進（千葉県との連携）

※市原アートフェスティバルの活用

⇩

地域経済の活性化、交流人口の拡大、定住人口の増加

3）サイクルツーリズムの推進

【千葉県によるサイクルツーリズムモデル事業の推進について】

全国一平均標高が低く、首都圏にありながら豊富な観光資源に恵まれた千葉県はサイクリングを楽しむには絶好の環境にあります。

県では、こうした環境を活かして多くのサイクリストの方々にくり返し本県を訪れてサイクリング観光を楽しんでもらえるようにしていくことを目指して、「サイクルツーリズム」を推進しています

平成23年度には、**「中房総地域」**「南房総地域」をモデル地域として、「快適・便利にサイクリングを楽しめる環境づくり」や「サイクリストを千葉に惹きつけるイメージづくり」の取組を進めてきた。

主な取組みとしては、『サイクリングのモデルコースの設定』『サイクルステーションの配置』『サイクリングガイドマップの発行』を実施しております。

【中房総としてサイクリングの活用】

中房総観光推進ネットワーク協議会では、このようなサイクリングに適した環境を活用し、中房総エリアへ多くの人々を呼びこむために、平成24年度事業として、サイクリングイベントの開催を予定しております。

また、サイクリングイベントについては、アートフェスティバルとの連携も視野に入れ、取り組んでまいります。

4）アートフェスティバルの開催

事業目的

人口減少・少子高齢化が進む地域において、地域の需要と活力を維持向上させるためには、地域外から人を呼び寄せる工夫が求められている。

このような認識のもと、地域住民が誇りと愛着をもつことができ、多くの人々に訪れていただける元気な地域社会の実現に向け、アートプロジェクトを実施しようとするものであります。

観光とアート

・政府の成長戦略に観光振興が謳われたように、観光による交流人口の拡大が地域の活性化やまちおこしの切り札として認識されるようになってきました。

・中でも、現代アートを使ったまちおこしに期待が集まり、大地や風土、人々の生活といった地域性とアートを融合させることで、地域の魅力を高めようという試みが注目されています。

・このことは、現代アートに地域の人々やその土地の持つ歴史や伝統、技術などを巻き込みながら新しいイメージを創造する力があると認識されつつあることを示しています。

アートイベント事例

越後妻有『大地の芸術祭』

2009 年
7月26日～9月13日
来場者数＝37万5千人

水都大阪２００９

水都大阪2009
中之島に全員集合!

2009 年
8月22日～10月12日
来場者数＝190 万人

瀬戸内国際芸術祭「アートと海を巡る百日間の冒険」

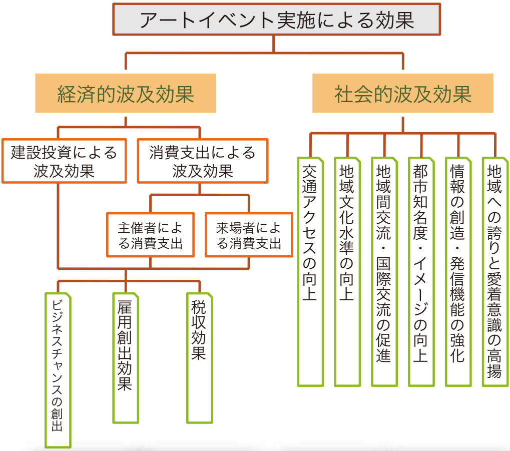
2010 年
7月19日～ 10月31日
来場者数＝93万8千人

あいちトリエンナーレ2010

AICHI
TRIENNALE
2010
ARTS AND CITIES
2010.8.21-10.31

2010 年
8月21日～ 10月31日
来場者数＝57万人

アートイベント実施による効果


経済的波及効果
- 建設投資による波及効果
- 消費支出による波及効果
  - 主催者による消費支出
  - 来場者による消費支出
- ビジネスチャンスの創出
- 雇用創出効果
- 税収効果

社会的波及効果
- 交通アクセスの向上
- 地域文化水準の向上
- 地域間交流・国際交流の促進
- 都市知名度・イメージの向上
- 情報の創造・発信機能の強化
- 地域への誇りと愛着意識の高揚

説明

経済波及効果について

①新たなビジネスチャンスの創出。
②新たな雇用の創出。
③消費支出の拡大による商店街の活性化。
④税収の増。

社会的波及効果について

①鉄道やバス路線の充実。
②次代を担う若者や子どもたちが、世界の一線で活躍するアーティストたちと協働し、また作品に触れる新たな体験は、市原市の未来を拓く原動力となる。
③市原市のイメージアップ（ブランド化）につながる。
④地域イメージのアップは市内への企業誘致に貢献。
⑤臨海部企業の世界へのPRに貢献。
⑥アートを媒体として、地域に内在する様々な価値を掘り起こし、その魅力を高め、市原市を世界に発信することができる。
⑦地域住民に地域への誇りと愛着が生まれる。

●市原アートフェスティバルの概要

（1）実施目的

人口減少・少子高齢化が進む地域において、地域の需要と活力を維持向上させるためには、地域外から人を呼び寄せる工夫が求められています。

このような認識のもと、地域住民が誇りと愛着をもつことができ、多くの人々に訪れていただける元気な地域社会の実現に向け、アートフェスティバルを実施しようとするものです。

（2）会期（予定）

2014 年（平成26 年）3月21 日（金・祝）－5月11 日（日）
計52 日間

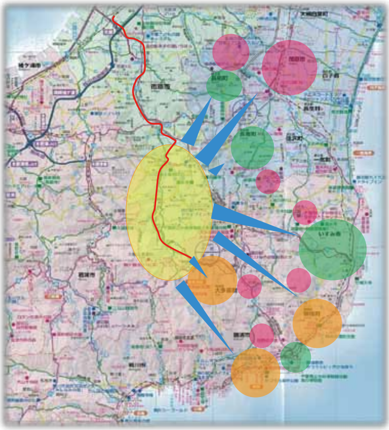
（3）会場（予定）

メイン会場　・南市原一帯（小湊鉄道沿線）
　　　　　　・圏央道市原南IC周辺
　　　　　　・市原市水と彫刻の丘
連携会場　　・中房総エリア

（4）内容

単なる現代アート作家が作品を制作し設置をするものではなく、作家自らが、開催地域に入り、地域資源の発掘、活用、また地元住民と交流しながら作品制作をおこない、多くの観光客を呼び込むものです。

●アートフェスティバルの実施による中房総エリアへの波及効果について



①宿泊施設への効果
日帰り客だけはなく、滞在して芸術祭を巡る観光客の宿泊先として活用することができる。

②芸術祭との連携による効果
各エリアには、陶芸家などの芸術家や美術館があることから、これらを芸術祭と連携し実施することで、効果的に発信し、観光客を呼び込むことができる。

③グリーンツーリズムなどへの効果
芸術祭に訪れた観光客に対し、農業体験や田舎体験などのメニューを付加価値として提供することが可能である。

④飲食施設への効果
地産地消メニューなど、中房総の食材を提供する飲食店を紹介することで、周辺地域の経済波及効果も期待できる。

●参考資料１【アートイベント等】

アートで島面白く

福武氏ら意欲

モノと才能結ぶ

島の自然・歴史 美と一体

大地の芸術祭

新しい旅のスタイル

瀬戸内国際芸術祭2010

住宅建築

希望の美術・協働の夢

1965-2004

北川フラムの40年

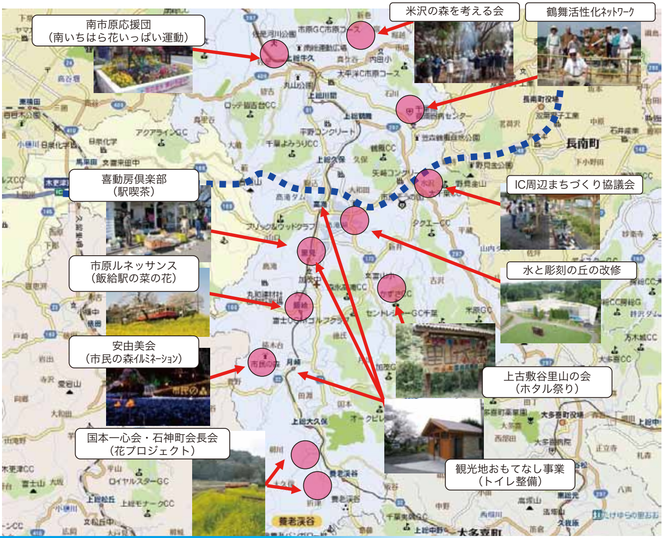
人間にとって、美術とは何だろう。人と人との関わり、地域や世界とは何だろう。

・南市原ギャラリーマップの作成
・水と彫刻の丘の改修など

十和田現代美術館

大地の芸術祭2010

●参考資料２　【地域の市民団体などの取り組みについて】


南市原応援団
（南いちはら花いっぱい運動）
米沢の森を考える会
鶴舞活性化ネットワーク
喜動房倶楽部
（駅喫茶）
IC周辺まちづくり協議会
市原ルネッサンス
（飯給駅の菜の花）
水と彫刻の丘の改修
安由美会
（市民の森イルミネーション）
上古敷谷里山の会
（ホタル祭り）
国本一心会・石神町会長会
（花プロジェクト）
観光地おもてなし事業
（トイレ整備）
長南町
養老渓谷

ニコニコ・Sorry ボックス

1.　齋藤会長

石井経済部長、本日はお忙しいところありがとうございました。

出席報告　前々回　74.3％　本日出席 31 名　欠席 11 名　出席率 73.81％